

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	ホームから介護相談室の開催、介護制度の講演、余った介護器具等の無料貸し出し等を働きかけ、地域により一層貢献するように努めることが望まれます。	地域への貢献として、介護相談室の開催、介護制度の公演など、認知症の人々などの身近な味方になれるように、働き掛けていく。	①地域包括支援センターと協力して、また民生委員の方も巻き込みながら、おしるこ会を開き、地域の人を招待して、同時に介護相談室を開催する ②認知症出前講座の講師を積極的に引き受ける。	6ヶ月
2	33	現状、終末期の看取りへの取り組みは確立されていません。新人職員も増えているので、具体的なマニュアルを作成し、職員研修等で知識を共有することが望まれます。	看取りの指針を職員に説明し浸透を図るために勉強会を開き、看取り介護のスキルアップを図る。	①勉強会で看取り介護について職員同士で勉強する。 ②看取り体制を整備し、実際に看取りを実践できるようにする。	6ヶ月
3	35	夜間想定では、近くに住む職員への連絡・駆けつけ、利用者の避難、ご近所への協力依頼等、実際的な訓練の実施、非常口段差の解消、備蓄の数量・内容の見直しが望まれます。	外構修復工事の際に非常口段差の解消を行う。また、夜間を想定した避難訓練を再度実施する。	①非常口の部分よりスロープを設け、非常時に車椅子でも避難できるように修復工事を行う。 ②夜間を想定した避難訓練では、近所の人たちに呼びかけ協力してもらうとともに、職員には自宅に待機してもらい、連絡を取ってかけつけてもらうような訓練を実施する。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。